

令和 8 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

(1) 高校全日制

学校番号	53	学校名	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校						課程	全日制		学校長名			太田垣 淳一		
教頭名	田中 豪一											事務長名		速水 崇行			
教職員数	教諭	50	養護教諭	1	常勤講師	7	非常勤講師	4	実習教諭、実習講師、実習助手		1	事務職員	6	技術職員等	6	計	75
生徒数	小学科		1年		2年		3年				合計		合計 クラス数				
			男	女	男	女	男	女			男	女					
	普通科		126	114	142	96	135	102			403	312	18				

(2) 附属中学

学校番号	中学 7	学校名	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校附属中学校							課程				学校長名			太田垣 淳一		
教頭名	永野 絵里											事務長名			速水 崇行				
教職員数	教諭	12	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手		1	事務職員	6	技術職員等	6	計	29		
生徒数	小学科			1 年		2 年		3 年					合計		合計 クラス数				
				男	女	男	女	男	女			男	女						
				2 3	1 7	2 0	2 0	1 9	1 9			6 2	5 6	3					

2 目指す学校像

10 年先を透徹した生徒主体の探究型学習を通じ STUDENT AGENCY を育む

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	【高潔】 自立した国際人の育成に向け、「一高」としての高い使命を貫徹する 【誠実】 まっすぐ学びに向き合う、誠実で理知的な学びの場となる 【剛健】 質・量ともに高い結果を目指し、あくなき挑戦を続ける
---------------------------------------	--

別紙様式 1 (高)

	【協和】異文化に胸襟を開き、受容的で持続可能な社会の範となる
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	【生徒】 21 世紀の国際社会に通用する主体的な学び手を創る 【学校・教職員】 時代にあった合理的で生産的な学校運営を行う 【地域社会】 地域と連携し共に成長する、開かれた学校となる
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	○高等学校全日制課程 本校の教育課程（カリキュラム）ならびに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、高等学校において学びを深めながら、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な 基礎学力 と 学習意欲 を有する人材。その上で、社会や自然に 興味関心 を持ち、それを行動や表現に移してきた人材 ○附属中学校 本校の教育課程（カリキュラム）ならびに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、中学校において学びを深めるために必要な、十分な 基礎学力 と 学習意欲 を有する人材。その上で、社会や自然に 興味関心 を持ち、それを行動や表現に移すことのできる人材

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
	・民間のノウハウを活かした敏速な組織改革を継続 ・デジタル・探究領域において文教政策を先取り	・人材流動性に耐える持続可能な運用基盤の構築 ・「トカイナカ」型中高一貫教育の継続的追究 ・「AI フェースト」で人知と人工知を融合
資源と投資の視点	・近代経営を導入（トップーミドルーボトム） ・SSH 第 3 期 2 年目報告書上梓（文理融合枠＋重点枠）；	【質の高い中小組織経営の継続】 ・近代経営／カリキュラム・マネジメントの堅持 ・SSH ならびに県費助成の効果的配分

	全国的な普及活動（デジ探）の成功（R7 139 名 340 視聴） ・ 企業，NPO，自治体等の関係資本を活用 ・ 人事異動・交流プログラムの影響、休職等による欠員等の慢性化、働き方改革、高齢化 ・ 特別棟リノベーション、コロナ禍の時期に導入した端末等のリプレイス時期の到来、ネット接続の一部不安定	・ 良質な関係資本の維持・開拓（専門家，実践家，TA 等） ・ 適材適所の人材配置；戦略部門への選択的登用（学習・探究・マケ）；後継者・ミドルリーダー育成（探究カテゴリーリーダー等） ・ 間接業務への AI エージェント、フリーランス人材活用 ・ ガバナンスの強化（県費・団費・助成金） ・ 特別棟の利活用促進；ICT 機器の計画的リプレイス；ネット接続の問題への対策
生徒／教育の視点	・ 生徒募集は新進層へのターゲティングが奏功；高校は 1 名定員割れ（附中 4.1 倍、高校 1.0 倍） ・ 局所的に昨年以上の学力に達する（高 1A 数学 R6 61.6→ R7 62.1）も学習習慣の定着等に課題が残る（高 1S 3 教科 53.1）；深い学びの実践は昨年同等（授業評価 6 3.5） ・ 探究は「総合知」を効果的に活用した班（地域産さつまいもでオリジナルスイーツを開発）など範例が出現 ・ デジタル教育では iPass 合格者が 2 桁到達（11 名） ・ 英検準 1 級合格者 2 桁を維持（12 名） ・ 「ホンモノのキャリア講座」（3 回実施 のべ 94 名参加）は生徒が最先端企業へのインターンに発展する事例も ・ 進学実績は旧帝大(+2)・筑波(+5)が昨対で伸長も全体的には高止まり；進路の多様化が顕著（福井県立大恐竜学部、東京芸大、台湾（予定）など） ・ 心の問題は引き続き高水準（SC 利用のべ 74 人）	【実践の質を高め結果につなげる（探究と進路の両立）】 ・ 高入倍率の安定化（先駆性と安心感のバランス；DM 活用） ・ 学習データの分析強化と指導方針の明文化（R プログラム） ・ 附属中〜アドバンスコースにおける先鋭的な教育開発（生成 AI） ・ 探究的な学びの深化（総合知を活かした課題解決・社会調査とデータサイエンス・最先端のデジタル技術） ・ キャリア教育の拡充を通じた学ぶ意欲の喚起（保護者・生徒） ・ 進路支援機能の刷新（進路支援室、総合型・海外進学） ・ 生徒へのエンパワメント（適正な部活動・生徒中心の課外活動） ・ 生徒支援機能の充実（心の問題・発達障害等・ネット不祥事） ・ 関係者への発信力強化（サテライト HP・広報等） ・ 読書習慣と人文知の尊重

業務 プロセス	・ 6 年一貫／単位制、教科中心体制は徐々に浸透 ・ 探究運営は一貫した実践展開・負荷の偏在等を要改善 ・ 兼務発令を活かした中高横断での人事・運用を継続 ・ 月報の習慣化（報告率 92.6%） ・ 教員・生徒による SNS 活動が好調（インスタ 1376 フォロワー）；探究や特色行事の広報が低調（PR 発行 10 件） ・ ガバナンスは継続的な注意喚起が必須（業者/職員による情報漏洩等が発生；当日報告 95%；ヒヤリハット複数） ・ 積極認知によるいじめ対策（中学 2 件，高校 0 件）	【課題解決者として業務に向き合う】 ・ プロジェクト型組織への移行による探究活動のスケラビリティ向上；ループリック／メンター評価を通じた機会の可視化 ・ デジタル化から DX への脱皮；生成 AI の積極活用 ・ 校則・研修旅行等のアップデート（「グローバルクエスト」など） ・ 社会人としての基本の徹底—服務規律・順法・業務手順（ほうれんそう／承認・いじめ防止・危機管理）・部活動適正運営 ・ 高リスク業務の手順・分担見直し（メール一斉送信など） ・ 政策・戦略・方針の理解度向上（中高一貫、特色化など） ・ 負荷の偏りの可視化と是正；努力への報恩
学習と成長	・ 授業研究が習慣化（通常 2 回＋生成 AI 1 回） ・ 適正評価・適所配置・有能なミドルの登用 ・ 基礎と応用（AL）のバランスを追究；教員の授業力・成長意欲に大きな濃淡；教師中心型指導が一部に残存 ・ 教科職員室の整備（国数英）を完了	【成長し続ける大人になる】 ・ 授業研究（年 3 回）の実施 ・ 学ぶ力につながる AI 活用ガイドラインの策定 ・ 学習データ、生成 AI 利用ログ等の分析機能強化 ・ 責任の明確化と能力・実績にもとづく処遇 ・ 県外（・国外）の優良校・人材との交流・出稽古の奨励 ・ 英語科チームの再構築（異動による主任交代のため）

5 中期的目標と本年度の重点目標

中期的目標（太字）と重点目標	評価指標	担当
【生徒】21 世紀の国際社会に通用する主体的な学び手を創る（ラーニング）		
総合知を用いた真正な探究学習を通じ本物の課題解決力を育む （SSH 基礎枠テーマⅠ）	・イノベーション力の向上 ・【KPI】全国規模の大会実績・商用化・特許等	探究
ゆるぎない教科指導を通じ基礎学力を固める （SSH 基礎枠テーマⅡ）	・模試過年度比（A, S それぞれで設定） ・【KPI】授業評価（各指標の平均）	学習
開かれた学びと異文化との出会いを通じ、自ら行動し創造する力を育てる（SSH 基礎枠テーマⅢ）	・【SSH】行動力／創造力の向上（、参加／受賞実績など）	キャリア
最先端のデータ・デジタル技術を身に着けた、卓越したイノベーション人材を育てる（SSH 重点枠）	・【KPI】IT パスポート等合格者数	情報科
【学校・教職員】時代にあった合理的で生産的な学校運営を行う（オペレーション）		
カリキュラム・ポリシーにもとづく 6 年間一貫した学びを提供する	・年間シラバス公開率 100%	教務
生徒の AGENCY（自由と責任を扱う力）を育む学校生活を演出する	・自己効力感アンケート	特活
多様な学びを促進する学習環境を提供する	・学校評価「生徒 3 学校の施設・設備に満足している。」	情メ
国内外の進学ニーズに応えるカレッジカウンセリングを提供する	・【KPI】進学実績 ・学校評価「生徒 6 進路指導の内容に満足している。」	キャリア

別紙様式 1 （高）

生産的で信頼される学校運営を行う	・生徒事故 0, 教員不祥事 0, 事務ミス 0	生支, 全教職員
【地域社会】地域と連携し共に成長する、開かれた学校となる（マーケティング）		
アドミッション・ポリシーにもとづく戦略的な生徒募集を行う	・%ターゲット層獲得（、附属中出願倍率）	マケ
竜一の価値を効果的に伝え優良な関係者との縁を築く	・#フォロワー数（認知・エンゲージメント）	マケ